

平成30年度 未来づくりキャンパス 取組方針

平成30年 5 月22日

総合政策部 政策推進課

①	平成30年度 事業の方向性	P3
②	対象受講生	P4
③	全体講座から個別支援へのシフト	P5
④	フォローアップ体制の構築（開講中）	P6
⑤	地域の参加	P7
⑥	プログラム	P8
⑦	フォローアップ体制の構築（終了後を見すえて）	P9

第1期・第2期

プログラム

- ・スタートアップ内容を中心とした全4回の講座と、メンターによる伴走支援の組合せ
- ・プログラムの中で、チームビルディングを行いチーム単位で学ぶ

課題

- ・受講生がチームの目標をコミットしきれない
- ・スタートアップに留まり、本格化までたどり着けない

サポート体制

- ・メンターによるフォローアップ（不定期）

課題

- ・配置メンターとチーム課題の専門性がミスマッチ
- ・特性や進捗に応じたサポート体制が不足
- ・修了後の継続したフォローアップ体制の構築

受講生

- ・社会起業家を志す市民（属性不問）

課題

- ・課題に対するリアリティの欠如
- ・実践に当たっての資源不足
- ・まち協等の関係団体との連携不足

地域にインパクトのある活動の創出に繋がっていない

第3期の方向性（案）

① 個別支援を中心とした実践型へのシフト

フォローアップ体制の構築

② 各チームのテーマや、特性に応じた専門家・実践者の紹介

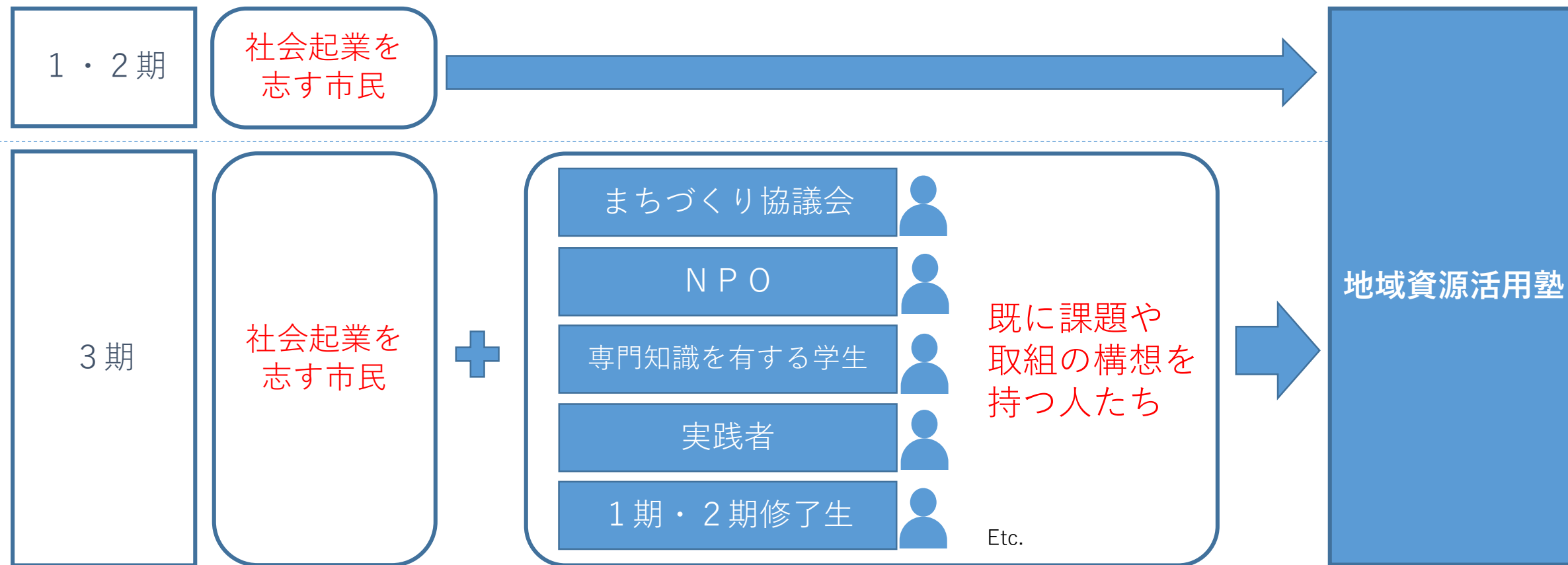
業務委託先の中間支援的役割による個別サポート（メンターとしての進捗管理も）

③ 修了生同士や、地域内外の実践者との連携を可能とするネットワーク作り

④ チームの活動に触発される市民やステークホルダーを増やし、参加を呼びかける

④ 経験者や、課題・構想を持つ人による具体的な取組 ⇒まち協、1期・2期修了生＋社会起業を志す市民

地域資源を活用し、地域をより良くする活動や事業を＜起こす／広げる＞市民の育成



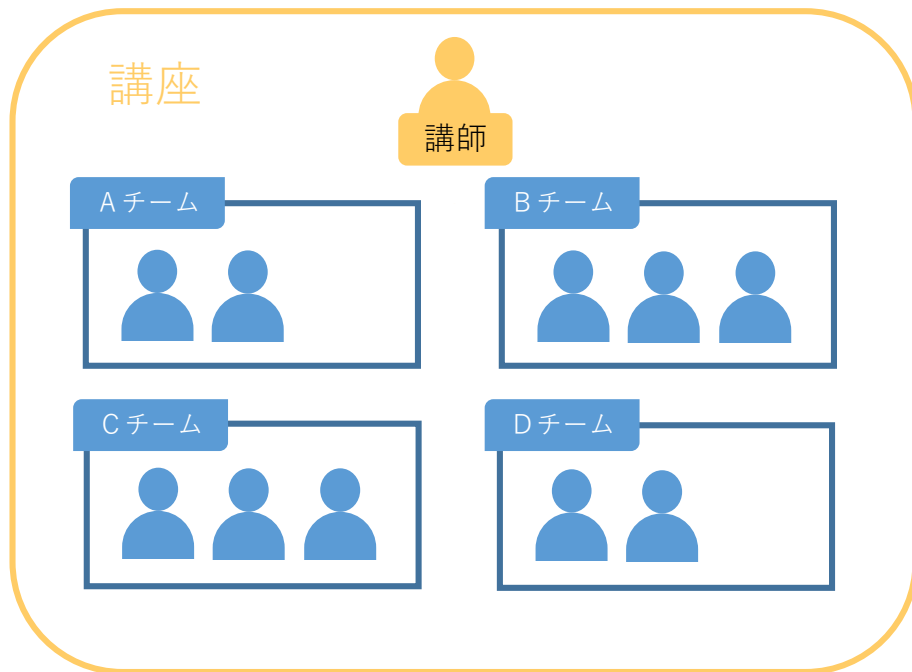
ポイント

- ・ 具体的な地域の課題、求められているものが把握しやすい
- ・ 構想や資源を持つ人たちの参加により、早期のプラン策定・事業着手が可能に
- ・ 当初から地域ネットワークを活用した活動が可能に

③ 全体講座から個別支援へのシフト

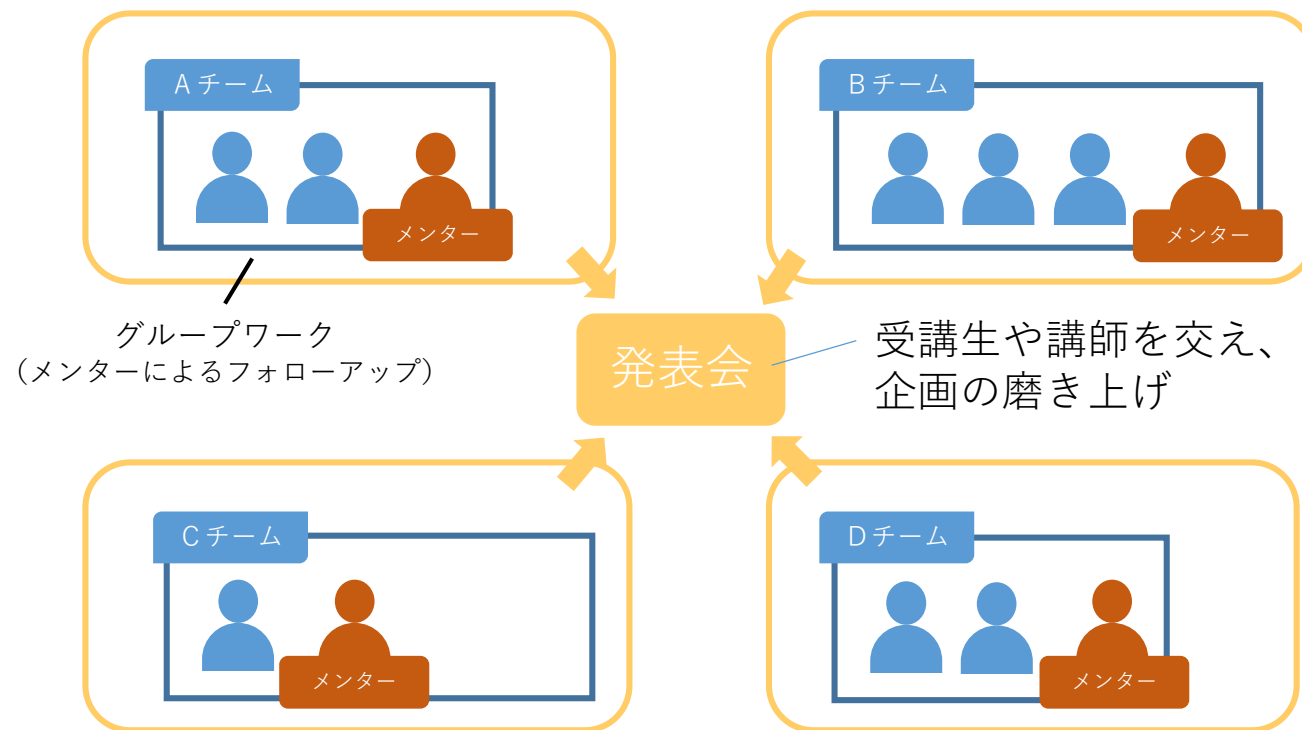
1・2期（スタートアップ型）

導入教育



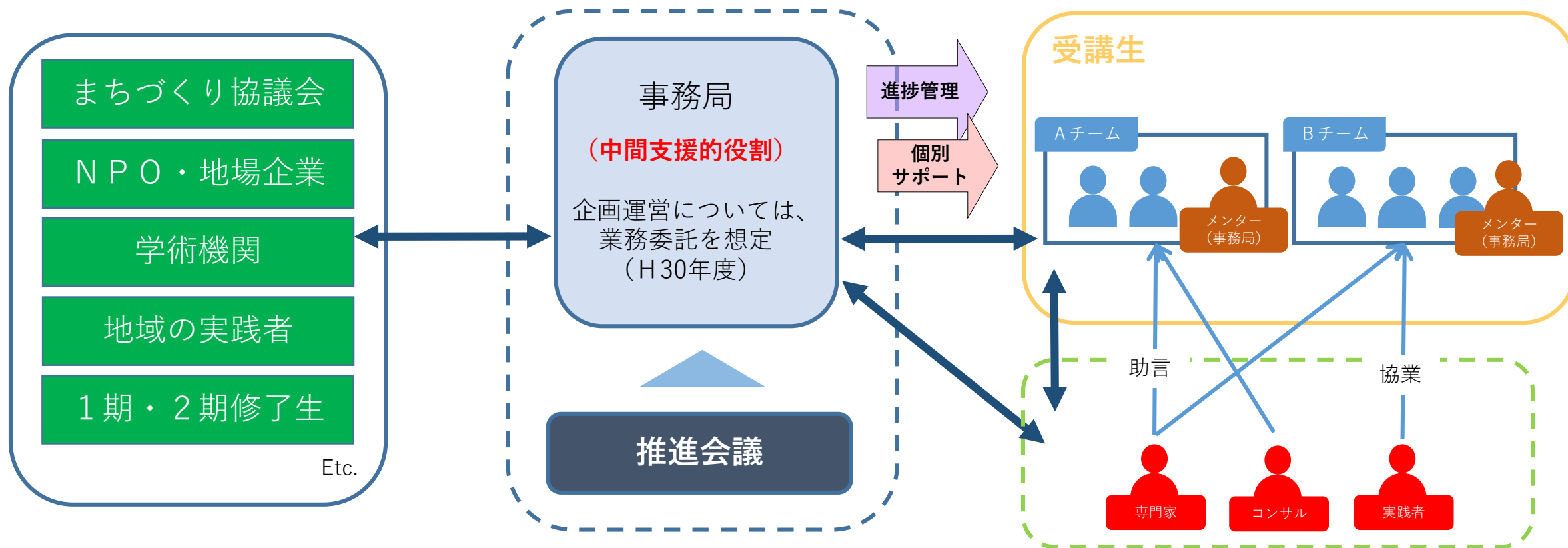
3期（実践・アドバンスト型）

専門教育



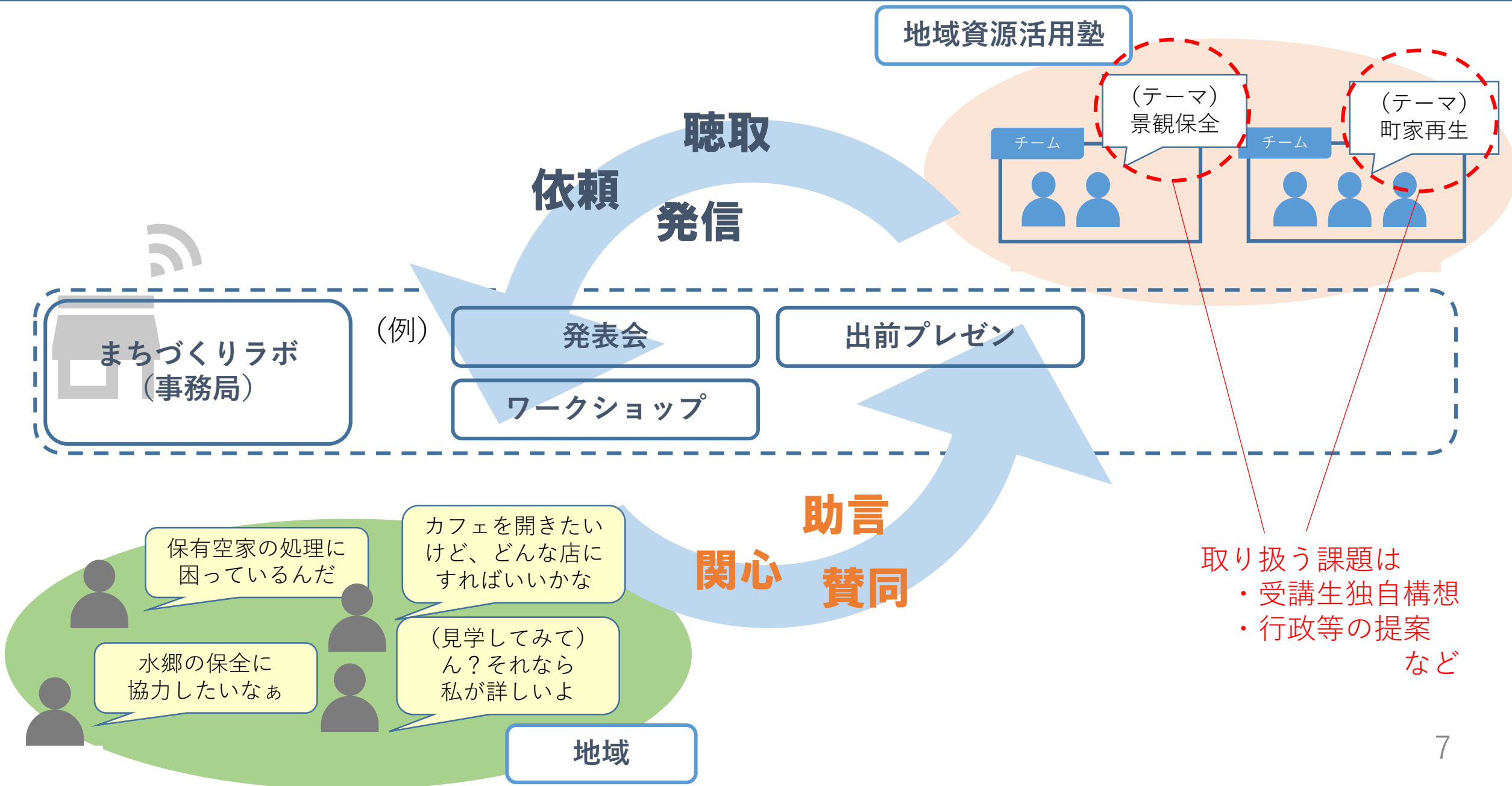
ポイント

- ・全チームに共通した内容の講義となるスタートアップ型からの脱却
- ・メンター伴走による進捗管理により、目標到達までのロードマップが描きやすい

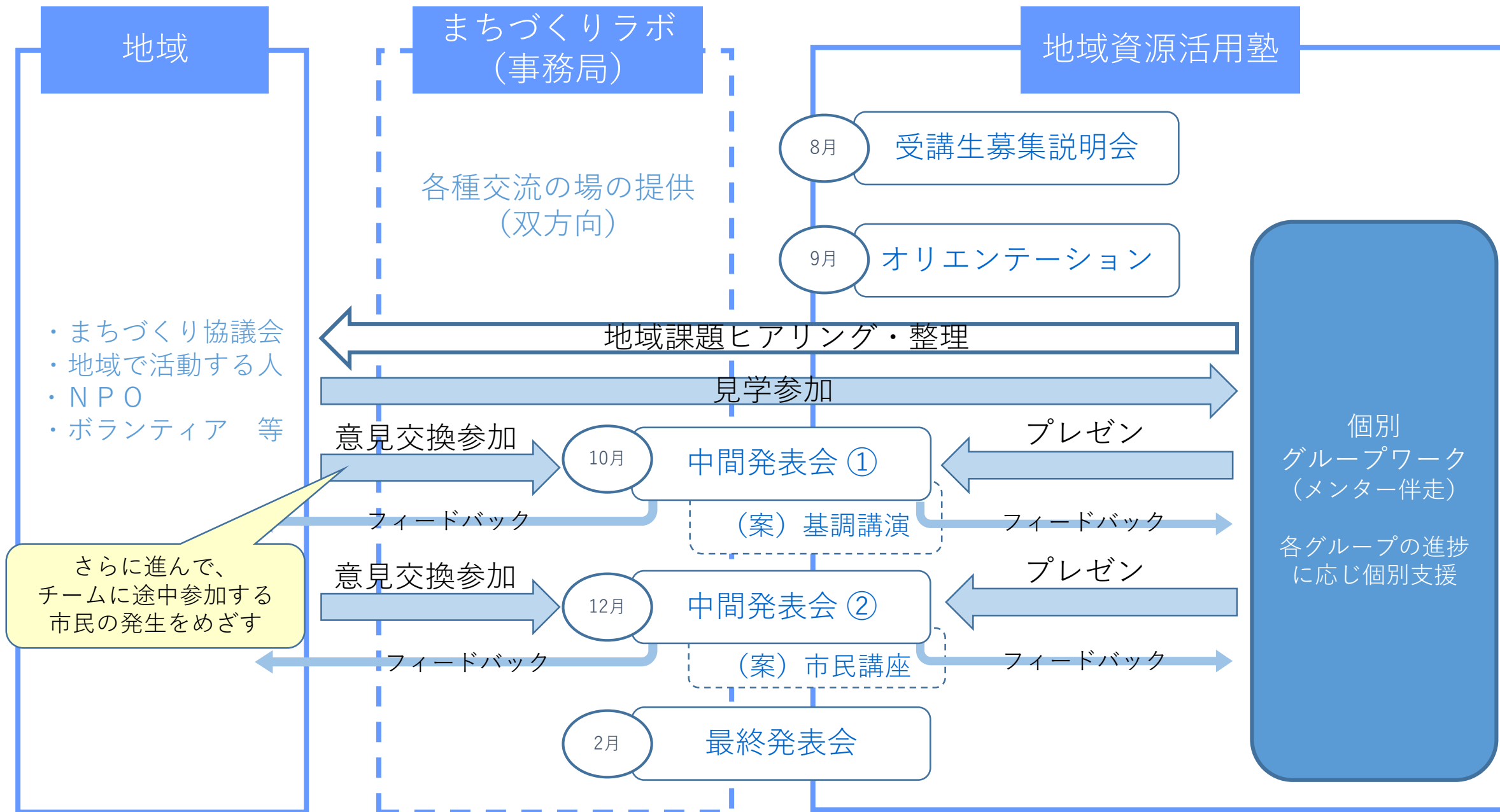


ポイント

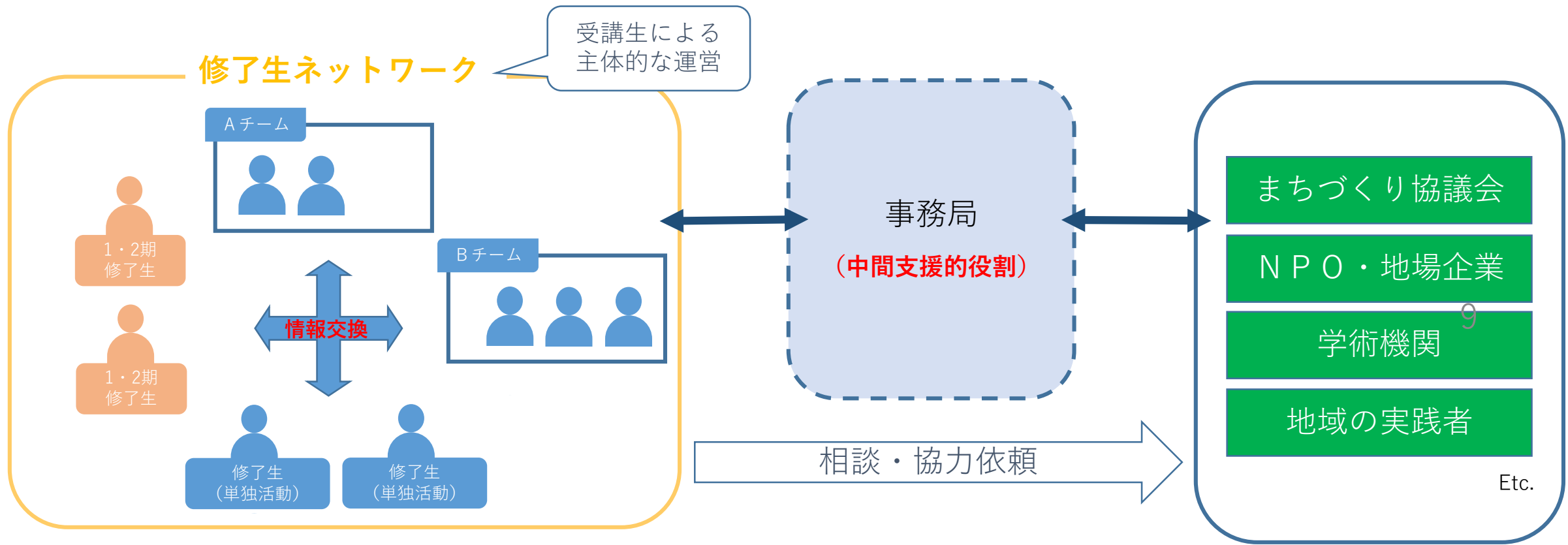
- ・ 関係機関等とのネットワーク構築により、プラン実現手法の多様化が狙える
- ・ テーマ決定後の専門家等招聘により、的確なフォローアップが可能に
- ・ 推進会議の積極的な介入により、効果的な連携効果の発揮を可能に



⑥ プログラム



⑦ フォローアップ体制の構築（修了後を見すえて）



ポイント

- ・修了生同士による情報交換により、新たな地域課題やトレンドの把握が可能に
- ・交流による人材・資源の相互活用を図り、協業可能性の検討などが可能に
- ・地域活動団体等が修了後も関与することで、活動の具現化・持続性をサポート

近江八幡市
総合政策部政策推進課

〒523-8501
滋賀県近江八幡市桜宮町236番地
TEL：0748-36-5527
FAX：0748-32-2695